

## S-8 気仙沼市鹿折浪板地区

2012年1月29日(日)

---

報告者名	梅屋 潔	被調査者生年	1944年(男)
調査者名	梅屋 潔	被調査者属性	鹿折公民館館長、
補助調査者	星 洋和		気仙沼市指定無形民俗文化財浪板虎舞保存会幹事長

---

### 八幡様のハマサガリ、オヤド

オヤドでは、現在は婦人部が中心となって、仕出し、塩とごまのおにぎり、お吸い物、煮染め、刺身などを出す。昔は4、5軒が中心となってハウゲ(宝桶)という朱塗りの桶におにぎりを入れて出した。ロクシャクたちに酒とビール、そしてまれには焼酎なども振る舞う。八幡神社のオサガリと、八雲神社(お天王さん)のお祭りの2回行う。他のオヤドでは、パンがでたりするが、浪板にオサガリするのがちょうどお昼時であることもあって、比較的しっかりした食事を準備する。太鼓がなると出発しなければならないが、浪板では皆腰が重い。

私は高校卒業後、仙台の短大を出て、宮城県農協中央会に26年間勤めたが、田んぼの手伝いには戻ってきていたし、4年に1度の浪板のトーマーには帰ってきてロクシャクをしていた。昭和45年の万博も宮城県代表に浪板虎舞が選ばれ、特別休暇が認められ、欠勤扱いとはならなかった。

A氏の兄(B氏)と一緒にいった。A氏が後を継いでいるのは、父親が違うからであり、B氏は、かもめ通りでミッキー靴店を開いている。私の父の同級生で東京靴店に勤めている者がおり、そこで勉強したと聞いている。

### バカシ

私は小学校2年からバカシをやっており、3人兄弟、二人姉妹の第二人ともがバカシをやった。上の弟は横浜におり、一番下の弟は白石高校の校長をしているので現在は関わっていない。現在は主にC氏がやっており、場合によっては自分が老骨に鞭打ってやることもある。小学校3年総合学習で指導しているが、「浪板に住みたい」という感想を漏らす生徒がいるなど、反応はよい。

### カッシャ(頭)

カッシャ(頭)は、かつてD氏がやっており、その弟子E氏のカッシャと私のバカシのコンビが長かった。私の父とE氏の父親はイトコなので、縁もあった(祖父の妹がE氏の父に嫁いだ)。その後、しのぶ館の当主がカッシャをつとめ、その後F氏がつとめたが、現在は養成中。

記事には頭は明治2年に製作とあるが(参考資料)、昭和8年と12年に鉄道省の物産展に出演しており、そこから逆算すると、明治後半か大正の作ではないか。大島の宮大工が桐で製作し、故人であるG氏が色を塗ってくれた。2個目の頭も練習用として、あるいはみなと祭りなどでは使用することもある。八日町に趣味で窯神を製作しているH氏に新しい頭の製作を依頼し、

ホンモノは預けていた。作業場である蔵にあげたばかりのところを津波が襲い、すんでのところ  
で被害は免れた。現在下あごはまだできていない。今後の行事として4月8日に横浜での公演  
があり、8月にみなと祭りがある。みなと祭りでは新しいカッシャがお披露目できるのでは  
ないか。現在、腕のいい塗り師を探している。2つ目のカッシャを塗ったのは、G氏の弟子の黒  
百合画房のH氏だが、1体目のような微妙な色使いは実現できていない。みなと祭りには60  
回連続参加している。今年は震災でみなと祭りは行われず、みなと祭り実行委員会は鹿折地  
区では鎮魂の意味を込めて盆踊りを開催し、そこには虎舞は出演したので連続出場は継続し  
ているともいえる。

### 経済基盤

市の指定無形民俗文化財の保存費では、修繕費捻出は難しいので積み立てている。最大100  
万円ぐらいを見こんでいる。宝くじにも250万の助成を得て、太鼓を作ってもらった。住友な  
ど財団からもいくらか費用をいただいている。

### 今後の見通し

今後のことは、まだ決まっていないが、I氏と相談してトーマーだけでなく地域を挙げてやっ  
ていこうと考えている。現在の総代には3年前にJ氏とK氏を推薦した。ちょうど社務所の建  
て替えに当たっていたので、役員として寄付を一般の家より余計にしなければならなくて、気の  
毒だった。推薦した責任から、私も役員並みの寄付をした。